

大阪市立 瓜破北小学校



住所 〒547-0024 大阪市平野区瓜破 1-8-33

連絡先 ☎ 06-6709-0360 ☎ 06-6799-0464

校長 永田 晶

開校 昭和 44年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751731>

教育目標(校訓)

「強く 正しく」

重点目標

「豊かな心と生きる力を育む教育活動を推進する。」

教育方針(めざすこども像)

- ・自ら学習し、正しく判断できる子ども
- ・進んで心身をきたえるたくましい子ども
- ・自他を尊重し、自ら進んで協力する子ども
- ・情操豊かで、思いやりのある子ども
- ・ねばり強くものごとに取り組み、最後までやりぬく子ども

運営に関する計画

【概要】

様々な教育活動を通して、多くの成功体験や達成感を伴う体験学習や指導法の工夫をさらに図り、自尊感情を高めるために、道徳心・社会性の育成に継続して取り組む。

安全・安心な学校をめざし、避難訓練を含めた防災・減災教育の取り組みの充実を図り、幼小連携・小中連携や地域・保護者との連携による防災訓練を継続し、自己と他者の命をともに大切に守り共存していくという意識を育て、安全教育の充実に努める。

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の児童アンケート調査で、次の各項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を令和3年度より3ポイント以上、増加させる。
 - ・「自分にはよいところがあると思いますか」
 - ・「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」
 - ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
 - ・「学校へ行くのが楽しい」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末保護者アンケートにおける「学校で学習したことを理解している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を令和3年度より3ポイント以上、増加させる。
- 令和7年度末児童アンケートにおける「学校の勉強は、わかりやすい」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を令和3年度より3ポイント以上、増加させる。
- 令和7年度末児童アンケートにおける「手洗い、うがい、歯みがきをしっかりと、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を令和3年度より3ポイント以上、増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末保護者アンケートにおける「学校は学習者用端末を活用した学習を行っている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を75%以上にする。
- 令和7年度末児童アンケートにおける「学習者用端末を使った学習が楽しい」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 令和6年度末の児童アンケート調査で、次の各項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より増加させる。
 - ・「自分にはよいところがあると思いますか」
 - ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
 - ・「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」
 - ・「学校へ行くのが楽しい」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和6年度末保護者アンケートにおける「学校で学習したことを理解している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を前年度より増加させる。
- 令和6年度末児童アンケートにおける「学校の勉強は、わかりやすい」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より増加させる。
- 令和6年度末児童アンケートにおける「手洗い、うがい、歯みがきをしっかりと、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和6年度末保護者アンケートにおける「学校は学習者用端末を活用した学習を行っている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を前年度より増加させる。
- 令和6年度末児童アンケートにおける「学習者用端末を使った学習が楽しい」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より増加させる。

校長先生からのメッセージ

本校は昭和44年に瓜破小学校から分離独立し、今年で創立56周年を迎えました。本校の校舎配置には特徴があり、南北の校舎の中央にプールが位置しています。玄関や講堂前の花壇には、四季折々の花が学校を彩っています。そのような整備された環境の中、全校児童312名が元気に学校生活を送っています。本年度は、「国語」を重点教科に据え、「主体的に学び、自分の考えを豊かに表現する子どもを育てる」を研究主題として国語科を中心に学力の向上を図っています。さらに、自尊感情を高めることも、教育活動の柱としています。学習面では、児童一人一人の基礎・基本の定着を大切に学習方法・学習形態を工夫しながら学力の向上に取り組んでいます。教室での学習だけでなく、縦割り活動や地域とのふれあい活動、様々な体験活動等、あらゆる機会を通して、豊かな心や自分も他の人も大切にできる心を育てています。今後も地域や保護者の皆様と連携し、教職員一同子どもたちの健やかな成長のために尽力してまいりますので、本校の教育活動推進にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 永田 晶

R5年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
58	50	平均正答率(%)

●結果と概要／

〔国語〕結果を分析すると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」について短答式で答える問題は、全国や大阪府を上回っていた。また、無解答率も全国や大阪府に比べると、低い問題が多い。一方、「書くこと」について記述式で答える問題の無解答率が、全国や大阪府に比べて高く、苦手意識を持っている児童が多い。今年度も、国語科で「書くこと」を中心とした指導法研修会を実施したり、大阪市教育センターのスクールアドバイザーに授業参観、指導助言等を行っていただいたりすることで、教員の指導力向上に努めていく。

〔算数〕結果を分析すると、国語科と同じく、記述式に対する無解答率が高い。中には、問題に例が示されており、同じように記述すれば正解するものに対しても、無解答率が高い。手順を踏めば必ず正解にたどり着くことを伝え、苦手意識を取り除いていきたい。

●取組の成果と課題／

国語科においては、研究主題を「自分の考えを豊かに表現する子どもを育てる」とし、今後も「書くこと」や基礎・基本となる力（視写・音読・漢字習得のための効果的な指導法・学習規律）を育成していく。また、「文章を正しく読み取る指導の工夫」を視点に据えて研究を進め、さらに大阪市教育センターからスクールアドバイザーに定期的に来ていただき、教材研究・指導案検討・授業参観による指導助言を通して、教員のさらなる指導力向上に努めていく。

算数科においては、基礎・基本の定着を図るとともに、大阪市教育委員会の学びチーフコラボレーターにアドバイスをいただきながら、放課後学習を実施し、学びコラボレーターとともに、児童の学びの習慣づくりのために、よりきめ細かな指導・支援を続けていく。

これからの情報化社会を生き抜くために、国語科や算数科に加え、どの教科にも「限られた時間の中で」的確に読み取る力、必要な情報を探す力を伸ばしていくことができるよう、指導法の研究を続けていく。

R5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	14.54	18.71	34.83	39.50	46.63	9.41	150.83	17.83	51.54
女子	14.85	16.76	40.18	37.73	34.88	9.97	135.06	12.31	51.78

●取組の成果と課題／

体育科の授業では、各学年で単元のめあてや成果などが意識できる体育カードを活用している。学級ごとの「みんな遊び」を積極的に行い、教師も一緒になって運動場に出て児童と過ごすことで、教室で過ごしがちな児童も元気に身体を動かすようになってきている。

キャリア教育と連携させた「夢授業」では、プロダンサー2名が来校し、6年生へ「ブレイクダンス」の楽しさや技を伝えた。また、元全日本ラグビー選手を招いた「ラグビー」の5年生の学習では、技術面の指導に加え、運動が苦手な児童も安心して全力で取り組むために、みんなで協力して応援する楽しさを味わった。

今後もこれらの取り組みを継続しながら、朝ご飯を食べて登校することやテレビやスマートフォンの視聴時間を減らすことの重要性も伝えていきたい。

●結果と概要／

体力合計点は、男子は大阪市平均を0.41点上回ることができた。女子は大阪市平均に0.89点届かなかった。長座体前屈は、男女ともに、全国平均・大阪市平均を上回る結果となった。男子の50m走も、全国平均・大阪市平均を上回る結果となった。

児童質問紙における「運動やスポーツをすることは好きですか」に、「好き」「やや好き」と肯定的に回答した児童は、男子は100%で全国平均・大阪市平均を上回った。女子は78.8%で全国平均・大阪市平均を下回る結果となった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は4.2%・女子は9.1%で、男女ともに全国平均・大阪市平均を下回っている。

学校の特徴

瓜北フェスティバル

クラスごとに自分たちで考え、ゲーム等の出し物を行います。児童は縦割り班でいろいろなクラスを回ります。高学年の児童は低学年の児童を引率し、説明をしたり、いっしょに遊んだりします。子どもたちのお祭りということで、準備から片付けまで自分たちが行います。



地域とのふれあい活動

低学年を中心に地域の方々とのふれあい活動を行っています。1年生は地域の方に昔遊びを教えていただき、楽しく遊びます。



作品展

本校では毎年作品展を行います。全学年の作品が講堂に展示されます。どの児童も工夫した楽しい作品になっています。1年生から6年生までの作品を一堂に展示することで、児童の成長の過程も感じられます。生涯学習ルームからの展示もあります。



クリーンキャンペーン

通学路など学校の内外を分担を決めて清掃活動をしています。子どもたちは熱心に掃除をして、毎年たくさんのごみを集め、町をきれいにする意識を高めます。

